

「インセンティブ型確定拠出年金プラン」を開発

ヘルスグリッド株式会社(東京都港区 代表取締役社長 部坂英夫)は年金コンサルタントの株式会社グローバルハート(東京都中央区)と自社開発の身体年齢計算プログラム「ボディスコア」(注1)を用いた、身体年齢が若ければ確定拠出年金(DC)の掛け金が積み増しになるビジネスモデルを開発しました。

「ボディスコア」で健康年齢を測定し、実際の年齢よりも身体年齢が若ければ会社側がインセンティブとして確定拠出年金掛け金を積み増します。

サービスを導入する企業の社員は年一回、「ボディスコア」で身体測定を行い最新の身体年齢を把握します。

実年齢より身体年齢が若かった場合、その年齢差をポイントに置き換えて会社側が掛け金を加算します。(逆の場合のペナルティはありません)

1ポイントあたりの加算額は導入企業が独自に決められます。

加入者にとっては健康増進のモチベーションを高めるきっかけに、企業にとっても税制上損金として処理できるメリットがあります。

第一号導入先としてソフトウェア開発のユードム(水戸市)が決まっており、2017年4月からサービス開始予定です。

厚生労働省によりますと企業型確定拠出年金の加入者は4月末時点で約580万人と6,400万人の就業者の9%にとどまっており、社員の健康に対する意識を高めることが出来るインセンティブ型確定拠出年金に対するニーズは極めて大きいと思われれます。

(注1)ヘルスグリッドが開発した体重や血圧、握力などの16項目の数値をもとに身体の総合的な健康状態を分析し身体年齢として表示するプログラム。

< 本件のお問合せ先 >

管理本部 服部 (電話:03-5770-5321 Email:hattori@healthgrid.jp)